演習Ⅰ

担当者 狭間　惠三子

開講時期 通年　　**単　位** 4

●講義の概要

文化による都市や地域の再生、文化による観光振興等をはじめ、公共政策・都市政策、地域活性化の事例を取り上げ、実証分析、ディスカッションを通じて、地域再生の可能性を受講者自らが探求することを目指します。

●講義の到達目標

研究テーマに関する文献や論文の検索、収集、整理、選別等、論文執筆に必要な基礎的研究力や研究倫理を身に着けます。また現地調査の準備、実証分析の手法を学ぶとともに、発表、討論を通じて、自らの研究内容を深化させ、まとめる力を養います。

●講義計画

前期は、それぞれが関心を持ち、問題意識を持って取り組める研究テーマを探求するために、いま日本の各地で起こっている地域活性化の事例や市民活動、コミュニティの連携等を取り上げ、そのプロセスを学習します。何が地域活性化をもたらすのか、重要な事柄は何かを考えます。

後期は、各自が問題意識･関心に必要な資料の収集、調査テーマのしぼり込み、調査対象の選定、調査計画の作成といった一連の作業を行います。それぞれ経過報告を行い、討論を通じて研究内容を充実させながら、レポートを作成します。

●成績評価基準と方法

・評価方法

発表・ディスカッション（50％）、レポート（50％）より評価します。

・成績評価基準

各自が関心と熱意を持って取組める研究テーマを発見し、そのテーマを追求できる適切な研究方法等を習得しているか。

自らの問題意識や意見を、自分の言葉できちんと説明し、また適切な文章にまとめることができるか。

他の人の意見を理解し、多様な視点からディスカッションができるか。

●テキスト又は参考文献

受講者と相談の上で選定します。参考文献は適宜、講義の中で提示します。

●受講上の留意点

都市政策や地域創生について自分が関心を持った事柄を自ら調べ、整理し、発表すること。他のメンバーのテーマにも関心を持ち、積極的に議論に参加してください。